

高齢者に寄り添う介護職員（右）
東京都、青葉台さくら苑提供

退院6日後 また陽性

高齢者施設「陽陽介護」も

新型コロナウイルスの「第8波」の感染拡大が続き、死者数は過去最多を更新している。高齢者施設ではクラスター(感染者集団)の発生が相次ぎ、退院後に再び陽性となるケースも。国は医療支援を伴う「施設内療養」ができるよう体制整備を求めているが、実態との乖離に現場から厳しい見方が出ている。▼1面参照

東京都目黒区にある特別

養護老人ホーム「青葉台さくら苑」。昨年11～12月、

介護職員17人と入居者43人

の計60人のクラスターが発

生した。入居者全員が4回

目のワクチン接種を終えて

いたなかでのことだった。

発端は職員の発熱だっ

た。陽性とわかったのは11

月21日。一気に感染は広ま

り、翌日には入居者4人が

救急搬送された。陽性とな

った入居者43人全員が入院

を希望したが、入院できた

のは23人だった。

職員は施設内で療養する

入居者の対応に追われた。

感染者とそうでない人が過

ごすエリアを分けるソーシ

ング、看護師や生活相談員

も総動員しての介護……。

感染者とそうでない人が過

ごすエリアを分けるソーシ

ング、看護師や生活相談員